

新庁舎からはじまる池袋のまちづくり

文化と活力、みどりにあふれ新たなチャレンジの舞台となる「まち」池袋

「文化によるにぎわいの創出」「人と環境への優しさ」をコンセプトとする都市づくり



諒をイメージ化したものであり確定したものではありません

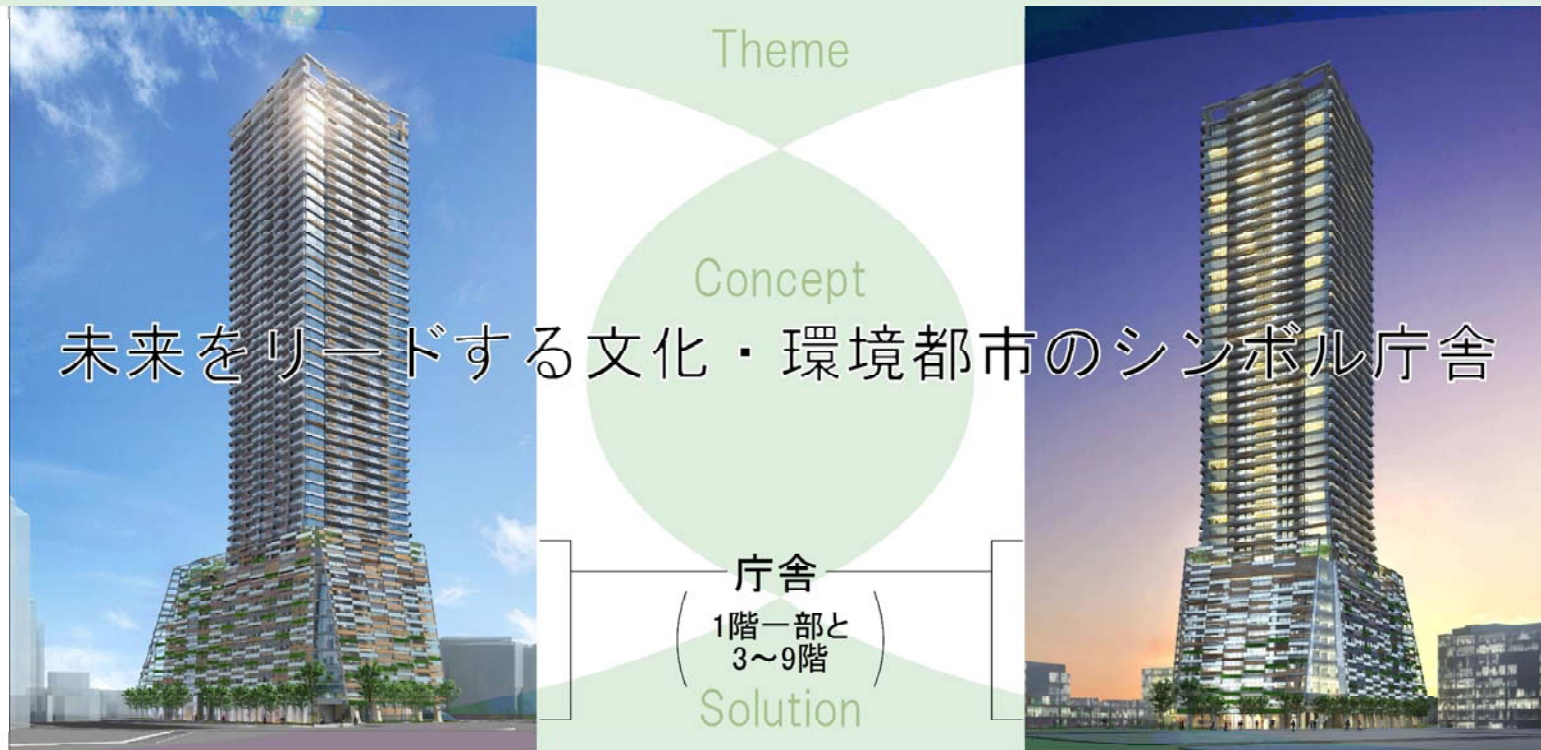
■ 環境デザインのコンセプト

□ 豊島区のまちづくり基本方針である『文化と品格を誇れる価値あるまちづくり』のシンボルとなる建築を目指します。

□ 「新庁舎整備基本計画」（平成21年11月）に基づき、以下の基本方針を具現化する庁舎を目指します。

1. 区民自治の機能の確立
2. 防災拠点機能の強化
3. 区民サービスの向上
4. 環境保全・自然エネルギーの利用

□ 地球温暖化問題への対応、ヒートアイランド対策、社会資産としての長寿命建築物のストックなど社会のニーズに応えられる建築を目指します。



■世界に誇れる環境庁舎

- ・「エコヴェール」をまとう樹木のような建築
- ・室内環境に潤いを与える「エコヴォイド」
- ・「エコ照明」で、新世代のワーキングスペースづくり
- ・「地域冷暖房システム」をはじめとする高効率設備システムの、最適な組み合わせによる省エネルギー化

■安全でわかりやすく、だれもが利用しやすい庁舎

- ・地震時の安全性を高める免震構造
- ・安全確保、機能維持を支える防災性能
- ・全方位に開かれ、わかりやすい空間構成と動線計画
- ・ユニバーサルデザインによる利便性・安全性の向上

■文化と環境を体感できるミュージアムのような庁舎

- ・文化的な活動、交流の場「（仮称）区民ひろばセンター」
- ・屋上緑化「豊島の森」で、生物多様性を目指した広域環境づくり
- ・環境体験・学習の場「エコミュージゼ」